



図書閲覧室として利用されていたころの 口481号。
(昭和36年 撮影：山本淳一氏)



復元後は多度津工場で展示されていました。



とても貴重な昭和元年ごろの佐川町や客車移送時などの
動画も放映されています。
口481号客車の見どころも紹介しています。

入場 無料
開館時間 9:00～17:00
休館日 月曜日
(祝日の場合は開館、翌日休館)



車内も見学できます。
シートに座ってくつろぐこともOK！
でも、115歳を超えてるので
大切にしてくださいね。



廣井 博士の顕彰展示もおこなっています。



駅舎内を照らすのは、ばいかおうれん
梅花黄連の花と
種子が実った姿をモチーフにしたペン
ダントライト。元地域おこし協力隊で
黒岩在住のライトアーティスト島田正
道氏が制作したものです。
うえまち駅のために作られた、世界で
1つだけのライト。見る角度によって
さまざまな表情が楽しめますので、ぜ
ひご覧になって下さい。



口481号客車 展示
廣井 勇 顕彰展示 **うえまち駅 オープン!**



4月17日、旧青山文庫の隣に 口481号客車展示施設
として「うえまち駅」がオープンしました。
口481号客車は、明治時代に作られ、大正13年鉄道開
業時から活躍していた2等客車(現在のグリーン車に相当)
です。引退後、昭和43年まで青山文庫の図書閲覧室として
使用されていましたが、老朽化がひどく、解体され国鉄多
度津工場に引き取られました。その後、長い歳月と多くの
手間をかけ復元され、日本で唯一の四輪の木造2等客車と
して準鉄道記念物に指定、展示されていきました。
今年3月JR四国から譲渡され里帰りをはたしました。
また同日、廣井勇博士の銅像除幕式も行われました。
(関連記事が14・22ページにあります)

広報さかわ

6月号

令和3年6月1日発行

今月の表紙



4月17日、佐川町出身で「港
工の父」と呼ばれた廣井勇博
士の銅像建立を記念して除幕式
が開催されました。今後はう
えまち駅と合わせて佐川町の新
な観光スポットとなります。ぜ
ひ皆さんも見に来てください。

PICK UP CONTENTS

- P 2 [特集]
うえまち駅オープン！
- P 4 高北病院
- P 6 子育て・健康応援ページ
- P 10 おしらせ
- P 20 まちまるごと植物園
- P 21 青山文庫だより & 文芸
- P 22 さかわ観光協会
- P 23 さかわ発明ラボ
- P 24 としょかんだより
- P 25 学校だより- 佐川小学校-